

# 北海道上川地域公共交通活性化協議会

令和4年2月1日設置



## 概要

上川地域は、北海道のほぼ中央に位置し、旭川市を中心とした23市町村で構成される。人口478,765人(2022年1月現在)、南北に224.4km、東西に96.7kmと南北に細長い形状で総面積は約10,619km<sup>2</sup>であり、北海道の約13%を占めている。高齢者や運転免許返納者の増加を受け、今後公共交通の重要性は益々高まることが予想されるが、人口減少に伴う利用者の減少や乗務員不足の影響を受け、バス事業者及びJRをはじめとした事業者の努力や行政による財政支援のみでは、引き続き広域的な移動手段を確保していくことは容易でないため、持続可能な公共交通の維持に向けて「北海道上川地域公共交通計画」を策定する。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR線:函館本線、宗谷本線、石北本線、富良野線、根室本線
- ・都市間高速バス、特急バス:高速あさひかわ号、高速なよろ号、石北号、北大雪号等
- ・地域間幹線系統:名寄線(道北バス)、層雲峡線(道北バス)、旭川線(ふらのバス)、興部線(名士バス)、恩根内線(名士バス)、いで湯号(旭川電気軌道)等の16系統
- ・その他地域間バス、市町村内及び近郊を運行するバス

### ○地域公共交通の課題

- ・人口減少や通勤・通学ニーズ減少による需要の減少
- ・高齢者の足としての公共交通の確保
- ・JRとバスが連携した持続可能で効率的な総合交通体系の構築

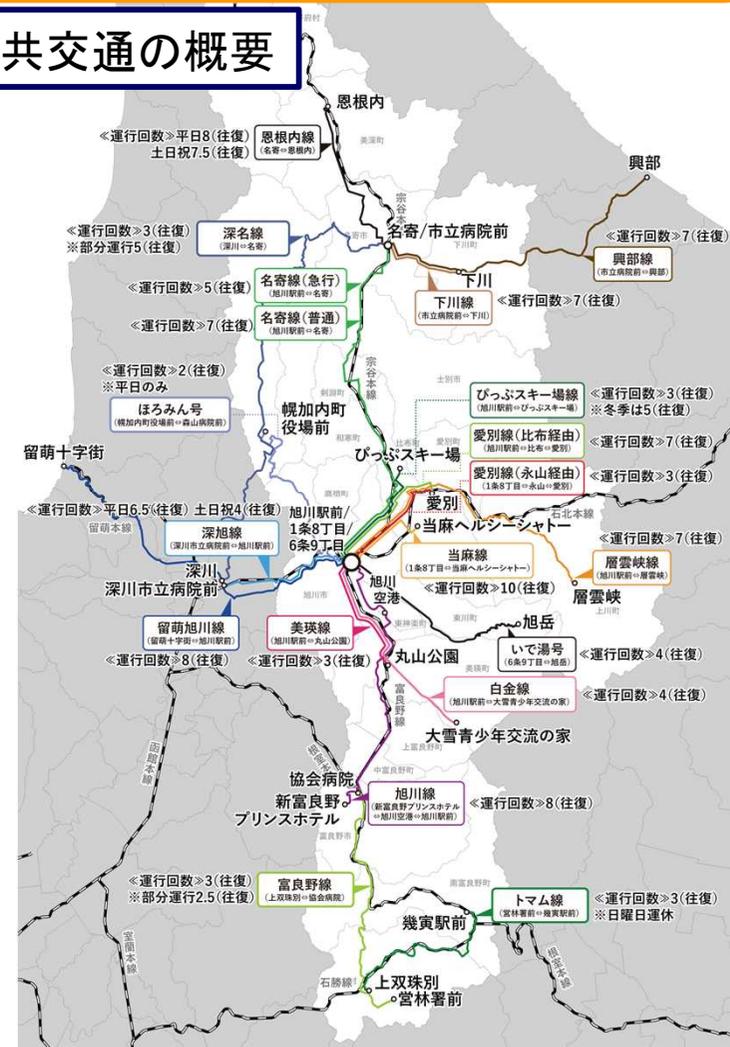
### ○調査の主な内容

- ・地域概況:人口、施設立地、統計データ、関連計画等の整理
- ・公共交通利用実態調査:路線バス、JR利用者数調査
- ・広域移動ニーズ把握:圏域住民アンケート調査

### ○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 令和4年2月1日 協議会設立
- 令和4年2月15日 令和3年度第1回協議会総会:各種規定(案)の承認等
- 令和4年4月19日 令和4年度第1回協議会総会:事業計画(案)、収支予算(案)の承認等
- 令和4年12月6日 令和4年度第2回協議会総会:計画案の一部(第1~3章)の承認

### 公共交通の概要



上川管内における主要な市町村間を跨ぐバス路線・JR路線図

# 北海道上川地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### 【地域特性・現況の整理】

- 上川地域の地勢、人口、高齢化率、生活機能施設の分布状況、通勤・通学状況、観光入込客数等を整理した。
- 法や国、北海道、市町村の上位・関連計画から公共交通に関する方針等を整理した。

### 【地域公共交通の利用実態調査】

#### (1) 路線バス利用実態調査

- 地域間幹線系統等、市町村間を跨ぐ25系統を対象に乗降客数調査を行った。各バス停での乗降人数に加え、ビンゴ式アンケートで乗客の属性や利用特性を把握した。

#### (2) JR利用実態調査

- 特急停車駅8駅を含む全9駅を対象に便別の乗降客数のカウント調査を行った。
- 駅利用者に対しアンケート票を配布し、日常的なJR利用実態や公共交通の課題、利用者ニーズ等を把握した。

### 地域特性の整理(抜粋)

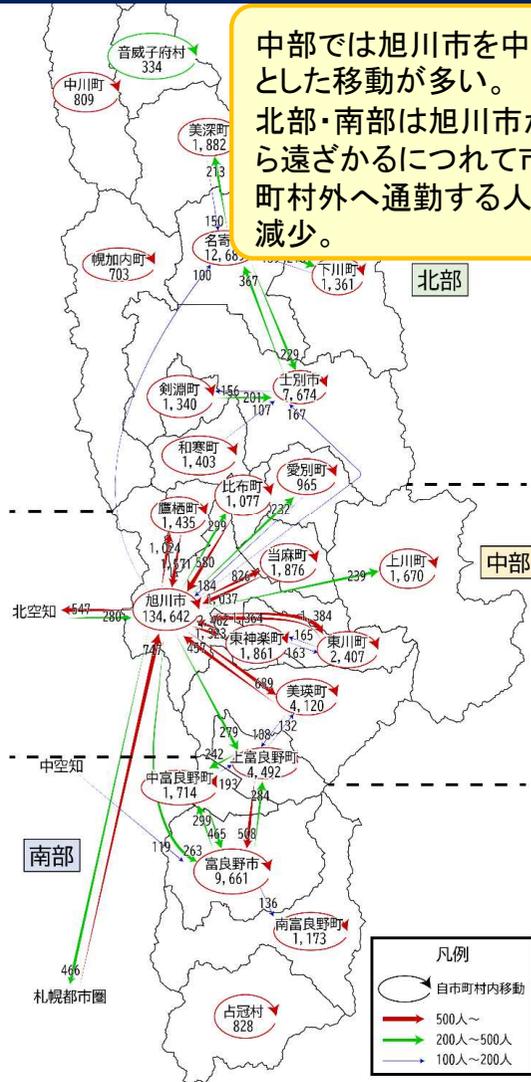


図 通勤流動

出典：総務省統計局「令和2年国勢調査」  
(<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>)をもとに作成

### 路線バス利用実態調査結果(抜粋)

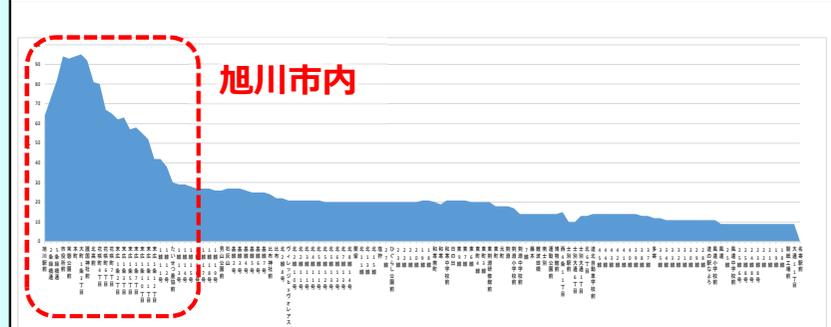


図 名寄線(普通)のバス停間利用者数(旭川⇒名寄)

旭川市内での利用が多く、市町村を跨ぐ利用は相対的に少ない。

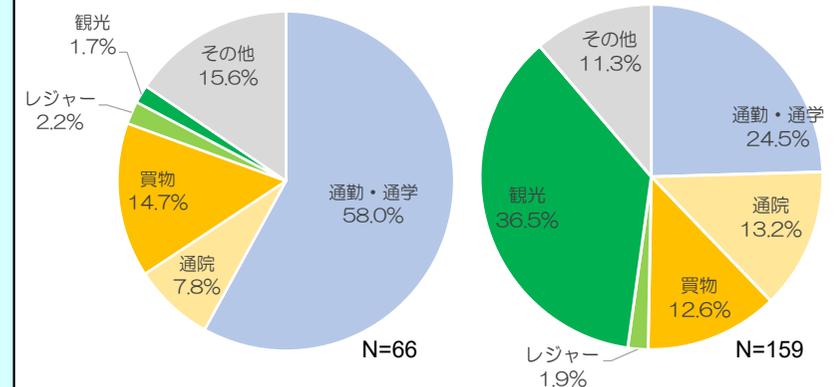


図 利用目的(左:美瑛線、右:白金線)

美瑛線と白金線は旭川～美瑛で並行区間があるが、日常生活利用と観光利用で利用者の特性が異なる。

# 北海道上川地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要

### 【圏域住民アンケート】

- 地域内の移動特性や公共交通の利用実態・課題・ニーズ等を把握するため、圏域住民の8,000人を対象とし、アンケート調査を実施した。
- アンケートでは、市町村を跨ぐ広域的な移動の実態や現状の公共交通に対する満足度・不満点、将来の公共交通のあり方等を把握した。

### 【交通事業者アンケート】

- タクシー・ハイヤー事業者にアンケート調査を実施し、コロナ禍での現状や将来のサービス維持に関する課題等を把握した。

### 【自治体アンケート】

- 民間以外の輸送手段や公共交通の維持・確保の方針、公共交通を維持するための行政負担等を把握するため、23市町村にアンケート調査を実施した。

### 圏域住民アンケート結果(抜粋)

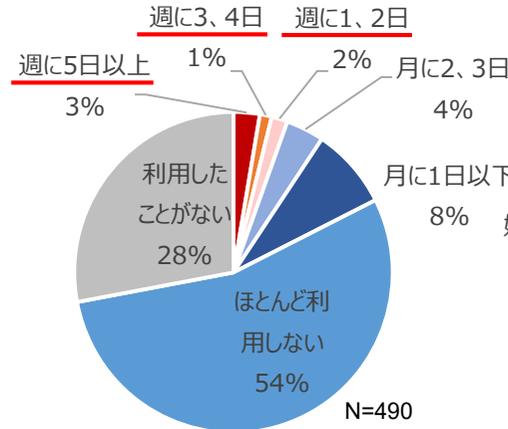


図 市町村を跨ぐ移動での路線バス利用状況

週に1回以上路線バスを利用する人は6%であった。

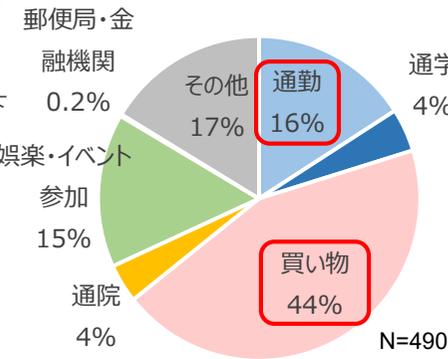


図 市町村を跨ぐ移動での主な外出目的

広域的な移動は「買い物」や「通勤」で多く行われている。

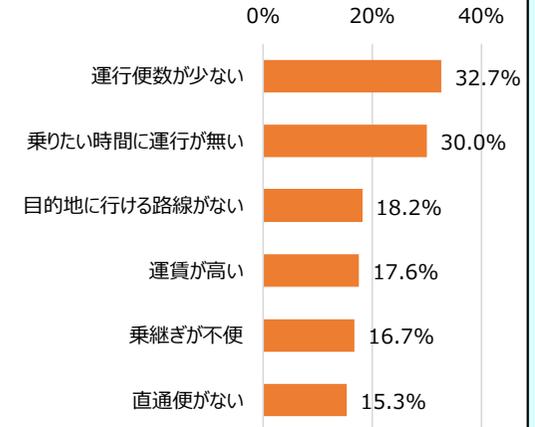


図 路線バスの不満点(上位)

現在の路線バスは、便数や運行時間帯が課題となっている。

### 自治体アンケート結果(抜粋)

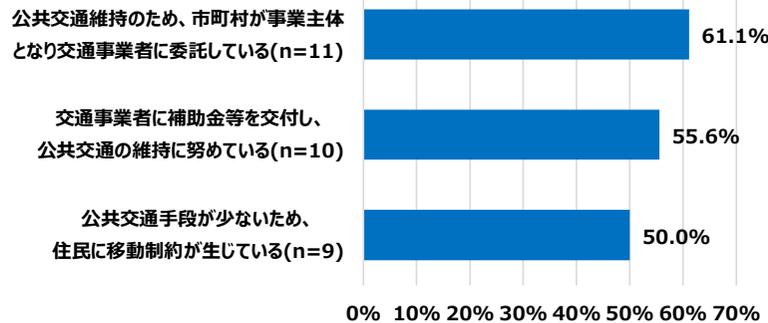


図 公共交通サービスが置かれている状況(上位)

### 公共交通に関して今後想定される課題

- 人口減少に伴い利用者数が減少し、補助金が増加
- 利用者の少ない路線・駅の廃止
- 公共交通事業者同士が少ない利用者を取り合うことによる衰退
- 交通弱者の都心への転出による人口減少や地域コミュニティの崩壊 等

# 北海道上川地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

### 【基本構成】

- ①「はじめに」、「計画の位置づけ」、「上川地域の地域特性・現況」、「上川地域の移動に関する現状」、「上川地域の公共交通の課題」、「計画の将来像及び基本方針・目標」、「目標達成のための施策と目標設定」、「目標達成に向けた評価体制」の構成で策定を進める。
- ②沿線の日常生活の移動や、広域的な移動を持続的に確保していくために、住民等の移動実態やニーズを踏まえ、必要に応じて公共交通サービスの最適化に向けて検討していく。

### 【検討手法】

○上川地域について、JRと並行して路線バスが運行されていることなどから、次の5つエリア別で検討。

- ①旭川市～名寄市方面
- ②旭川市～上川町方面
- ③旭川市～富良野市方面
- ④名寄市近隣地域
- ⑤富良野市近隣地域

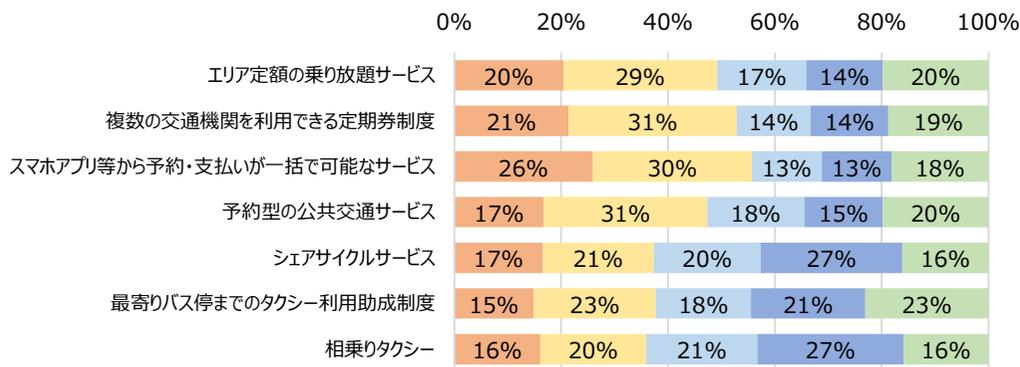
○乗降調査や圏域住民アンケート等の各種調査結果の分析を踏まえ、沿線の日常生活の移動や広域的な移動を持続的に確保していくために、地域や路線の状況に応じて、公共交通サービスの最適化に向けて検討していく。

### ① 旭川市～名寄市方面

JR宗谷本線と道北バス（名寄線急行・普通、愛別線（比布経由）、ぴっぷスキー場線）が並行していることから、バスの輸送実績等を踏まえた路線の最適化や鉄道とバスとの連携等について検討していく。

### ④名寄市近隣地域

主に恩根内線、下川線、興部線、深名線、ほろみん号について、住民の移動ニーズや地域の状況を踏まえて検討



■使ってみたい ■やや使ってみたい ■あまり使ってみたいと思わない ■使ってみたいと思わない ■わからない

図 利用促進策による公共交通利用意向の変化 N=490

